古文の助詞 一覧表

助詞	意味（用法）	接続（何に付くか）	結び
■ 格助詞　体言・連体形に付き、下の語との関係を示す			
が	主格・連体修飾格・同格・準体格・比喩	体言・連体形	
の	主格・連体修飾格・同格・準体格・比喩	体言・連体形	
を	対象・起点・経過する場所・時	体言・連体形	
に	場所・時・対象・結果・目的・原因・理由・比較の基準・強調	体言・連体形（目的は連用形）	
へ	方向	体言	
と	共にする相手・結果・比較の基準・比喩・引用・並列	体言・連体形・引用の語	
より	起点・経過する場所・比較の基準・手段・方法・即時（～するとすぐに）	体言・連体形	
から	起点・経過する場所・手段・方法・原因・理由	体言・連体形	
にて	場所・時・手段・材料・原因・理由・資格・状態	体言・連体形	
して	手段・方法・共にする人数・相手・使役の対象	体言	
■ 接続助詞　活用語に付き、下へ続ける			
ば	順接仮定条件（未然形＋ば）・順接確定条件（已然形＋ば：原因・偶然・恒常）	未然形・已然形	
とも	逆接仮定条件	終止形（形容詞・ずには連用形）	
ど	逆接確定条件・逆接の恒常条件	已然形	
ども	逆接確定条件・逆接の恒常条件	已然形	
が	逆接確定条件・単純接続	連体形	
に	順接確定条件・逆接確定条件・単純接続	連体形	
を	順接確定条件・逆接確定条件・単純接続	連体形	
て	単純接続・順接・逆接	連用形	
して	単純接続・順接・逆接	形容詞・形容動詞・ずの連用形	
で	打消接続（～ないで）	未然形	
つつ	反復・継続・二つの動作の並行	連用形	
ながら	二つの動作の並行・逆接確定条件・状態の継続	連用形・体言・形容詞の語幹	
ものの	逆接確定条件	連体形	
ものを	逆接確定条件・順接確定条件	連体形	
ものから	逆接確定条件・順接確定条件	連体形	
ものゆゑ	逆接確定条件・順接確定条件	連体形	
■ 副助詞　いろいろな語に付き、意味を添える			
だに	類推（～さえ）・最小限の限定（せめて～だけでも）	いろいろな語	
すら	類推（～さえ）	いろいろな語	
さへ	添加（～までも）	いろいろな語	
のみ	限定・強意	いろいろな語	
ばかり	限定・程度・範囲	いろいろな語	
まで	範囲・限度・程度	いろいろな語	
など	例示・婉曲・引用	いろいろな語	
し	強意	いろいろな語	
しも	強意	いろいろな語	
■ 係助詞　いろいろな語に付き、文末の形を決める（係り結び）			
ぞ	強意	いろいろな語	連体形
なむ	強意	いろいろな語	連体形
や	疑問・反語	いろいろな語	連体形
か	疑問・反語	いろいろな語	連体形
こそ	強意	いろいろな語	已然形
は	他と区別して取り立てる	いろいろな語	終止形
も	並列・強意・添加	いろいろな語	終止形
■ 終助詞　文の終わりに付く			
ばや	自己の願望（～したい）	未然形	
なむ	他への願望（～してほしい）	未然形	
てしが・てしがな	自己の願望	連用形	
にしが・にしがな	自己の願望	連用形	
もがな	願望（～があればなあ）	体言・形容詞の連用形など	
な	禁止	終止形（ラ変型には連体形）	
な～そ	禁止（やわらかい）	連用形（カ変・サ変は未然形）	
か・かな	詠嘆	体言・連体形	
かし	念押し	文の終わり（命令形など）	
■ 間投助詞　語調を整え、詠嘆・呼びかけを表す			
や	詠嘆・呼びかけ	いろいろな語	
よ	詠嘆・呼びかけ	いろいろな語	
を	詠嘆・強意	いろいろな語	

※ 同じ形で種類が違う語（が・に・を・して・なむ・な・や）は、別の行にしています。係助詞「は」「も」は文末を終止形で結びます。